



エゴの木の实



種を運んでくれる
ヤマガラ

秋の森では、赤い実をつけた木をたくさん見かけます。種を運んでもらう鳥にアピールするためには、赤が効果的なのです。

でも、エゴノキの実は、ミントガムみたいな色で目立ちません。その上、苦くてイガイガするえぐみがあ

るので「エゴ」と言う名前までつけられました。いったい誰に、種を運んでもらうつもりなのでしょう？

それは、ナッツ類が大好きなヤマガラです。昔は、この実をつぶして川に流し、魚を獲っていたそうですが、魚には毒でもヤマガラには「そ

生きていく知恵

んなの関係ない」
みたいですよ。賢い
ヤマガラは、余った実を、開けた場所の地面に埋めて蓄えます。大部分は食べられますが、忘れられた一部が芽を出します。それが、エゴノキの生きていく知恵なのです。
(平野妙子)